

平成 27 酒造年度における清酒の製造状況等について

国税庁では、清酒製造業の健全な発達に資するために清酒の製造状況等の調査を行っています。調査の結果は清酒の製造管理上の指標として清酒製造業者に利用されています。平成 27 酒造年度（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）における清酒の製造状況等については、別表「平成 27 酒造年度清酒製造状況等」のとおりです。

1 清酒の製造場数

調査場数(蔵置場を含む)1,828 場のうち、回答場数は 1,726 場(回収率 94.4%)であり、そのうち平成 27 酒造年度において清酒を製造した場数は 1,241 場で、前年度から 16 場増加しています。

製造方法別の製造場数は、特定名称清酒においては、純米酒 1,048 場（前年度 1,054 場）、純米吟醸酒 1,128 場（同 1,097 場）、吟醸酒 901 場（同 913 場）、本醸造酒 847 場（同 858 場）であり、特定名称清酒以外の清酒は 899 場（同 904 場）です。

これらの全体の製造場に占める割合は、純米酒 84.4%（前年度 86.0%）、純米吟醸酒 90.9%（同 89.6%）、吟醸酒 72.6%（同 74.5%）、本醸造酒 68.3%（同 70.0%）、特定名称清酒以外の清酒 72.4%（同 73.8%）となっています。

（注）特定名称清酒とは、純米酒、純米吟醸酒、吟醸酒及び本醸造酒のことをいいます。

2 清酒の製造数量

平成 27 酒造年度における清酒の製造数量(アルコール分 20 度換算数量)は、433,721k1(対前年度比 1.8%減)です。そのうち、特定名称清酒の製造数量は、174,601k1(対前年度比 4.5%増)となっています。

特定名称清酒の製造方法別の製造数量を前年度と比較すると、純米酒は対前年度比 5.3%増、純米吟醸酒は同 12.6%増、吟醸酒は同 4.0%増、本醸造酒は同 3.4%減です。

製造方法別の製造数量の推移は表 1 及び図 1 のとおりです。

3 原料米の使用数量等

平成 27 酒造年度における清酒用原料米は、玄米としては 250,537t（対前年度比 1.0%増）、白米としては 163,005t（同 0.3%減）が使用されています。原料米使用数量の推移は表 2 及び図 2 のとおりです。

平均精米歩合は 64.6%（前年度 65.4%）で、その推移は表 3 及び図 3 のとおりです。

4 原料用アルコールの使用数量

平成 27 酒造年度の清酒製造に使用された原料用アルコールの数量（アルコール分 100 度換算数量）は 24,783kl（対前年度比 5.4%減）で、白米 1 t 当りに換算すると 152.01（同 5.1%減）となります。原料用アルコールの使用数量の推移は表 4 及び図 4 のとおりです。

表1 製造方法別製造数量（アルコール分20度換算）の推移

区分	酒造年度	23	24	25	26	27	前年度比
純米酒	k1	(10.5) 47,259	(10.7) 47,745	(11.3) 50,647	(12.5) 55,398	(13.4) 58,322	% 105.3
純米吟醸酒		(6.2) 27,772	(7.0) 31,245	(7.8) 35,020	(9.5) 42,063	(10.9) 47,348	112.6
吟醸酒		(4.3) 19,179	(4.7) 20,745	(4.9) 21,761	(5.0) 22,105	(5.3) 22,984	104.0
本醸造酒		(10.8) 48,666	(11.2) 50,113	(10.7) 47,718	(10.8) 47,558	(10.6) 45,947	96.6
(特定名称の清酒) 小計		(31.8) 142,875	(33.6) 149,848	(34.8) 155,145	(37.8) 167,124	(40.3) 174,601	104.5
特定名称 以外の清酒		(68.2) 306,296	(66.4) 295,868	(65.2) 291,290	(62.2) 274,721	(59.7) 259,120	94.3
合計		(100.0) 449,171	(100.0) 445,716	(100.0) 446,435	(100.0) 441,845	(100.0) 433,721	98.2

(注) 1. () 書は、構成比(%)です。

2. 集計値の端数処理の関係で、各値の合計が合計値と異なる場合があります。

図1 製造方法別製造数量の推移

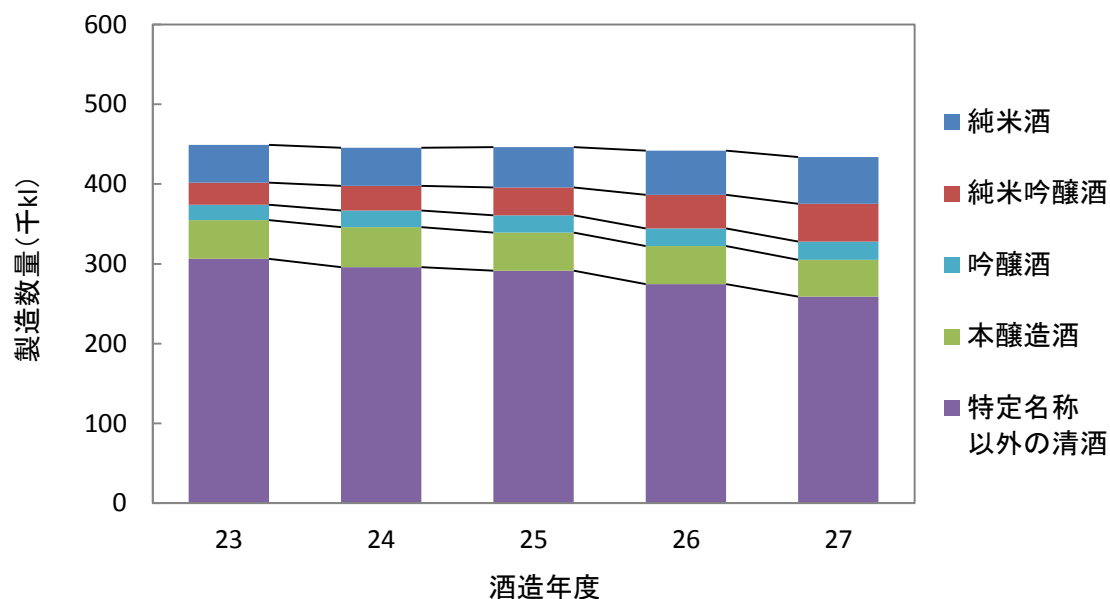


表2 原料米使用数量の推移

区 分	酒造年度					前年度比
	23	24	25	26	27	
玄 米	t 237,791	t 241,160	t 243,217	t 248,019	t 250,537	% 101.0
白 米	160,801	162,127	163,057	163,519	163,005	99.7

図2 原料米使用数量の推移

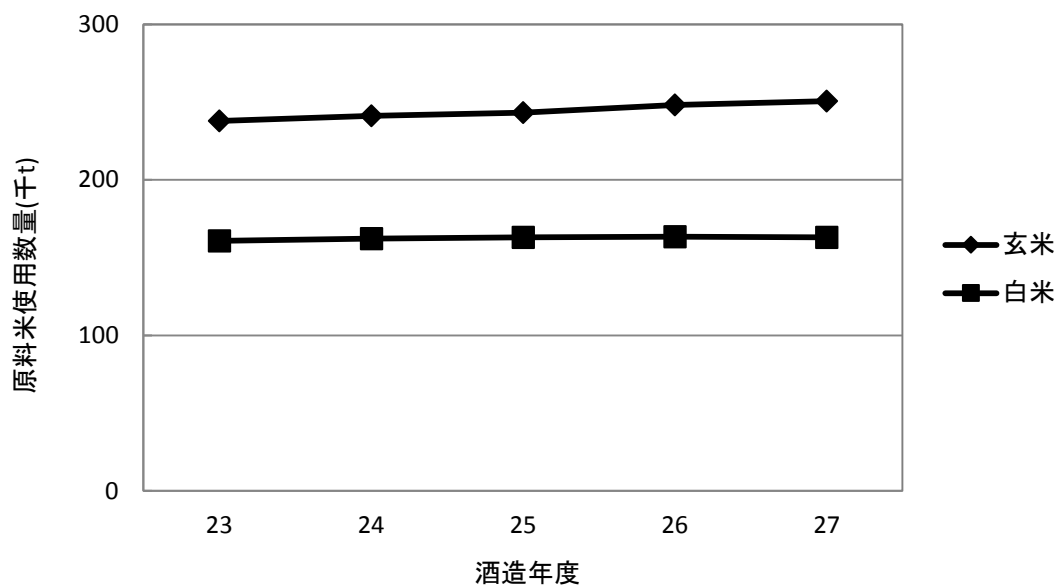


表3 平均精米歩合の推移

区 分	酒造年度				
	23	24	25	26	27
純 米 酒	65.5 %	65.3 %	65.4 %	65.5 %	65.5 %
純米吟醸酒	51.7	51.2	51.3	51.1	50.3
吟 醸 酒	50.6	50.2	49.9	49.8	49.7
本 醸 造 酒	65.1	65.1	65.0	65.3	65.2
特定名称以外の清酒	73.7	73.8	74.3	73.9	73.8
全 体	66.9	66.3	66.2	65.4	64.6

図3 平均精米歩合の推移

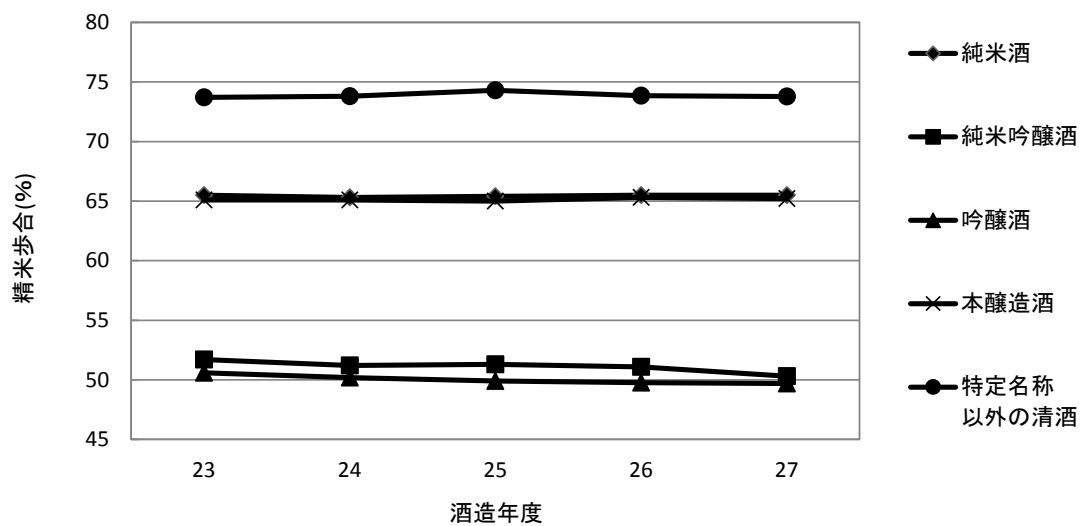
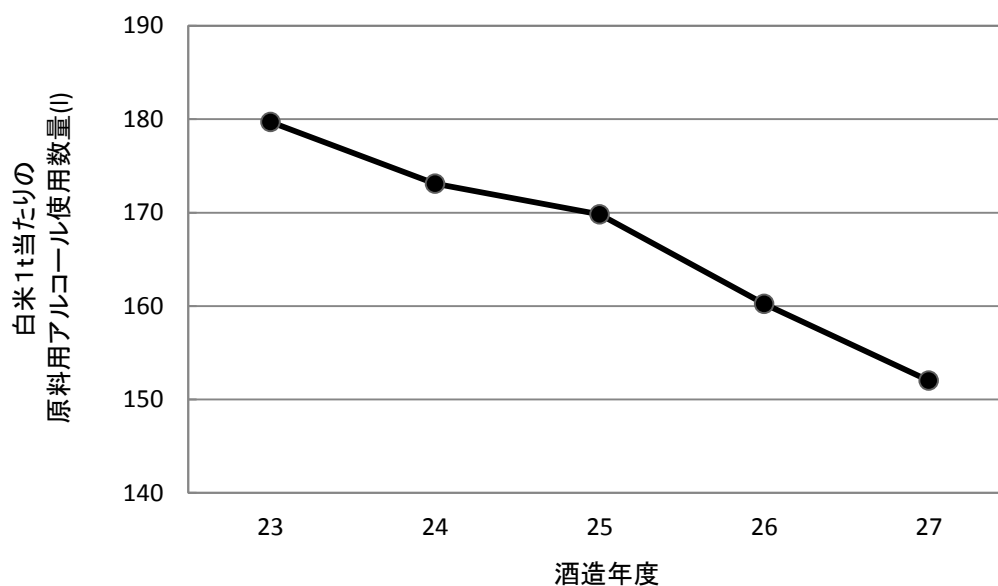


表4 原料用アルコールの使用数量（アルコール分100度換算）の推移

区分	酒造年度					前年度比
	23	24	25	26	27	
使用数量	k1 28,902	k1 28,070	k1 27,690	k1 26,201	k1 24,783	% 94.6
白米1t当たり 使用数量	l 179.7	l 173.1	l 169.8	l 160.2	l 152.0	% 94.9

図4 白米1t当たりの原料用アルコール使用数量の推移



別表

平成27酒造年度清酒製造状況等

区分	製造場数	製成清酒					製成かす 実数	使用原料			
		実数	純アル数量	平均アル コール分	日本酒度 合計	平均 日本酒度		米 (玄米)		アルコール又はしょうちゆう (純アル数量) 白米1tあたり	
	場	kl	kl	度	千度	度	t	t	t	kl	l
純米酒	1,048	64,990	11,664	17.9	95,653	1.5	8,189	46,020	30,141	—	—
純米吟醸酒	1,128	54,743	9,470	17.3	58,076	1.1	8,887	50,880	25,596	—	—
吟醸酒	901	24,497	4,597	18.8	87,638	3.6	3,487	20,120	9,999	1,017	101.7
本醸造酒	847	46,518	9,189	19.8	149,258	3.2	5,211	29,157	19,013	2,128	111.9
特定名称清酒以外の清酒	899	254,041	51,824	20.4	329,553	1.3	15,596	104,361	78,257	21,638	276.5
全体	1,241	444,789	86,744	19.5	720,178	1.6	41,371	250,537	163,005	24,783	152.0
区分	使用原料							各種歩合			
	糖類		酸類			清酒かす	清酒		精米歩合	かす歩合	
ぶどう糖	水あめ	乳酸	こはく酸	くえん酸	りんご酸		実数	純アル数量			
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	t	kl	kl	%	%
純米酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.5	27.2
純米吟醸酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.3	34.7
吟醸酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49.7	34.9
本醸造酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.2	27.4
特定名称清酒以外の清酒	969,239	3,141,638	13,305	11,286	3,068	700	27	80	12	73.8	19.9
全体	969,239	3,141,638	13,305	11,286	3,068	700	27	80	12	64.6	25.4

- (注) 1. 集計値の端数処理の関係で、各値の合計が合計値と異なる場合があります。
 2. 純アル数量とは、製成清酒(実数)に含まれるアルコール分(100度換算)の数量をいいます。
 3. 日本酒度とは清酒の比重を表す指標です。
 4. 「日本酒度合計」は、日本酒度×製成数量(l)の累計です。
 5. 精米歩合とは、玄米からぬか、胚芽等の表層部を取り去った状態の米の、その玄米に対する重量の割合をいいます。